

2023 年 高校生地球市民会議 実施計画

2023 年 9 月 7 日更新
NPO 法人 スプラタルカ

趣 旨

本国際会議を通して参加国の高校生が自由に意見を交換することで、お互いの考えの違いや共通点を実感し、またそれぞれの歴史や文化や習慣についての理解を深めることで、国を越えた相互理解や同世代の連帯を図る。さらに、このような活動を通して、ボランティアスタッフとしての参加も含め、リーダーの育成を促す。

テーマ

「2043.11.23」 (20 年後の社会と私)

"2043.11.23" (Society and myself after 20 years.)

* 今から 20 年後の社会の様子や自分自身について、根拠を示して想像する。

参加者

1. 日 本 : 沖縄県在住の高校生
2. バンコク (タイ) : Rachawinit School 生徒
<https://rachawinut.ac.th/>
3. ペナン (マレーシア) : Batu Kawan Secondary School 生徒
<http://smkbatukawan.blogspot.com/>

* 各国の高校生 (15~17 歳) それぞれ 20 名程度

開催日

2023 年 11 月 23 日 (木) * 「勤労感謝の日」

日 本 : 15:00 – 17:00

タ イ : 13:00 – 15:00

マレーシア : 14:00 – 16:00

会 場

日 本 : 読谷村文化センター内

タ イ : 学校内

マレーシア : 学校内

会議形式

3 か国間でのビデオ通話

参加費

無 料

主 催

NPO 法人 スプラタルカ

会議のプログラム構成

* 日本時間

場面	時間	会議の流れ	会議の詳細
あいさつ	15:00-15:02 (2 分)	Ice Break! ＜参加者全員＞	参加者の緊張をほぐす。 ● 各国のことばで一緒にあいさつを行う。 * 全員で復唱する。
	15:02-15:04 (2 分)	リーダーのあいさつ ＜各国のリーダー＞	各国のリーダーが、会議開催のあいさつを行う。
学校紹介	15:05-15:20 (15 分) 5 分×3	学校紹介 (日本、タイ、マレーシア) ＜各国担当者＞	学校紹介を行う。 ● 簡潔に学校を紹介する。 ● 写真やビデオ、図などを使って紹介する。 ● お互いに質問する。

テーマに沿った議論	15:25-16:25 (60分) 20分×3	「2043.11.23」 (20年後の社会と私) ＊今から20年後の社会の様子や自分自身について、根拠を示して想像する。 このテーマに基づいて、各国から発表を行い、その発表をもとに議論する。 (日本、タイ、マレーシア) <発表：各国担当者> <議論：参加者全員>	● 各国、20年後の社会の様子について、根拠を元に予想を2つ発表する。 ● 同時に、自分自身の未来の様子についても発表する。 ● 参加者は、それらの発表について<u>質問や意見</u>を行う ● 発表をもとにして、議論がより発展することを旨とする。 ● 全体司会者は、時間を見ながら適当なところで切り上げる。
	16:25-16:30 (5分)	休憩	5分間の休憩
自由質問	16:30-17:00 (30分)	自由な質問 (自由に質問をしよう) <参加者全員>	お互いが興味あることについて、自由に質問を行う。 ● <u>国を指定せず</u>、自由に質問を取る。 ● <u>質問内容は、特に制限しない。</u> ● 全体司会者は、時間を見ながら適当なところで切り上げる。
さつ の あ い り	17:00-17:01 (1分)	会議終了のあいさつ <各国のリーダー> *ビデオ通話を終了	各国のリーダーが、会議終了のあいさつを行う。 *ビデオ通話を切断する。
	17:01-17:04 (3分)	休憩	3分間の休憩
全体のまとめ	17:10-17:30 (20分)	本会議のまとめ 感想の発表とワークシート記入 <参加者全員>	今日の会議について感想を述べる。 ● <u>ワークシート</u>に自分の感想をまとめる。 ● 今回の会議について、<u>参加者全員から</u>意見や感想を取る。 ● スタッフや見学者など他の参加者からも意見や感想を取る。
	17:30-17:31 (1分)	会議終了のあいさつ <全体司会者> *会議全体を終了	会議の終了を伝える。 *国際会議終了

事前準備

1. 各自、テーマに沿って自分のアイデアを事前にワークシートにまとめる。
 - アイデア（予想・想像）を1つ以上、その根拠とともにワークシートにまとめる。
 - あなたの周りの社会やあなた自身が、20年後、どのように変わっているのかを想像する。
 - 以下のキーワードを参考に、20年後を想像する。
「自然環境」「人口」「食糧」「エネルギー」「AI」「ロボット」「遺伝子操作」「科学技術」「紛争や戦争」「格差」「平和」「民族」「家族」「地球温暖化」「仕事」・・・
 - なぜそのように想像するのか、説明できる理由（資料）を加える。
 - アイデアが楽観的であるか悲観的であるかは問題としない。そのアイデアを会議の議論の基礎とする。
2. 各国それぞれ、会議で発表するアイデア（予想・想像）を二つ選択し、発表の準備を行う。
 - まず、全員のアイデアを確認する。
 - 全員で話し合い、最終的にアイデアを二つ選ぶ。
 - アイデアは、それぞれのアイデアと組み合わせたり、全員で話し合いながらアイデアを発展させたりしてもよい。
 - アイデアの根拠（資料）は必ず用意すること。
 - 2つの発表のための資料を準備する。
 - 文書は各アイデアにつき5ページ以内で作成する。
 - 写真や絵、図などを活用する。
3. 各国それぞれ、住んでいる地域や学校についての紹介を準備する。
 - 会議の長時間化を避けるため、紹介資料はあらかじめ各国で共有する。
 - 写真や図などを用いて紹介する。
 - 出来上がった資料を各国で共有する。（ページ数に制限はない）
 - 会議で発表する資料は5ページ以内とする。
4. 発表役の選択。
 - 学校紹介役を決めておく。
 - 「未来のイメージ」の発表者を決めておく。各国アイデアはふたつ。

日 程

募集期間：9月19日～11月3日

事前研修：

1. 第1回 11月12日（日） 13:30－16:30 読谷村文化センター内
2. 第2回 11月19日（日） 13:30－15:00 オンライン（各家庭から）

本会議：11月23日（木） 15:00－17:00 読谷村文化センター内

＊準備が間に合っていない場合は、本会議前に13時に集まって仕上げる。

応募方法

1. 募集期間：9月19日～11月3日

2. 応募資格：

- 高校生（相当）であること。 ＊15～17歳
- 会議に積極的に参加する意思があること。
- 事前研修にも参加できること。
- 英語能力は特に必要ない。
- 保護者の承諾を得ていること。

3. 申し込み方法：

- スプラタルカの公式サイトに保存されている申し込み用紙(PDFファイル)を印刷し、必要事項を記入の上、スプラタルカに郵送する。
- メールに同様の内容を記入し、スプラタルカあてに送信する。

交流中の約束事

1. 相手の発表には、必ず質問や意見を返す。
2. 相手の意見や質問については、まずその意味を理解しようと努める。質問や意見ではない、安易な価値判断や非難は行わない。参加者の歴史や文化や社会システムがそれぞれ違うことを、十分に理解しておく。

意思疎通の流れ（本会議）

「発表者（母語）」→「通訳（英語）」→＜インターネット＞→

→「通訳1（母語1）」→「参加者」
→「通訳2（母語2）」→「参加者」

「質問者（母語）」→「通訳（英語）」→＜インターネット＞→

→「通訳1（母語1）」→「参加者」
→「通訳2（母語2）」→「参加者」

補 足

1. 参加者は、英語の能力によって選別されることはない。会議のテーマに関する考えや積極的に参加する意思をもとに選考する。

問い合わせ先

特定非営利活動法人 スプラタルカ

〒904-0305 沖縄県読谷村都屋 369 代表：本田勝也

info@supratarka.org

<https://www.supratarka.org/>

<https://www.facebook.com/supratarka/>



<https://www.supratarka.org/>

info@supratarka.org

